■ 高松市議会ホームページ●

http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html

議会報告会

高松市議会では、より市民に開かれた議会を目指し、 4月24日に初めての議会報告会を開催しました。

この報告会は市議会議員40名全員によるもので 約100名の市民の皆様に御参加いただき、これまでの 議会改革の取り組みや、平成28年3月定例会の各常 ・特別委員会における審議状況等の報告のほか、 疑応答などを行いました。

平成28年 6月定例会

次 目

代表質問 ……2~4

質疑・一般質問ほか … 5~7

情報BOX8

定例会の日程

6月9日 開会、提案説明

代表質問 14⊟

15⊟ 代表質問・質疑

16・17日 一般質問

> 一般質問・特別委員会審査 20日

21⊟ 常任委員会審査

委員長報告・討論・採決、閉会







また、陳情1件を不採択としたほか、人事案件3件に同意 対する修正案1件及び議員提出議案1件を否決しました。

柔及び議員提出議案2件を可決し、一般会計補正予算に

今定例会で決まった主な内容

。牟礼・香川・勝賀及び国分寺の各総合センターを設

屋島競技場の整備に伴う条例改正

置することに伴う条例改正

生活道路の整備に関する事項について調査審議する

生活道路整備審議会を設置するための条例制定

議員提出議案 ●意見書 の指定 待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書

▽男女共同参画センターの管理を行わせる指定管理者 その他

(市長提出議案)

▽危機管理センター ●補正予算 を整備するための予算 (仮称)

老朽化が著しい高松第一高等学校の校舎等の改築に 高松南部3町商店街等の地域コミュニティ機能や買 物機能の維持・強化を図る事業を支援するための予 向け、改築実施設計業務を実施するための予算 等に防災行政無線設備等

月23日までの15日間の日程で開かれました。 今定例会では、平成28年度一般会計補正予算など16議 平成28年第3回高松市議会定例会は、6月9日から6

食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書

各会派を代表して、神内茂樹

(沖---)紙)の4人の議員が質問しました。中村伸一(公明党)・大西 智(離鼠説)・川崎政信(同志会)・各会派を代表して、神内茂樹

質問の主な内容

政治姿勢、行財政、観光神**内茂樹議員(**蕭鼠鋭)

を踏まえた第6次高松市総

とめる必要があるが、これ

合計画の目標達成に向けた

病院事業、教育行政など断災対策、待機児童問題、興、立地適正化計画、農業、政治姿勢、行財政、観光振

川崎政信議員(同志会)

向けた医師確保、選挙など対策、福祉、新病院開院に興、産業振興、農業、防災政治姿勢、行財政、観光振政治姿勢、行財政、観光振

中村伸一議員(公明党)

子供・若者支援などムの構築、経済活性化対策、ケイ、地域包括ケアシステライ、地域コミュニ

市民満足度調査など支援、若年層支援、公契約、全なまちづくり、障がい者防災・減災対策、安心・安



の実現に向けて邁進する踏まえ、目指すべき都市像市民満足度調査の結果等を

用したまちづくりに生かすMICE誘致やICTを活

ることができ、意義ある会から、G7各国でICTのでは、経済成長などの観点では、経済成長などの観点では、経済成長などの観点のでは、経済成長などの観点のでは、経済が、最初では、経済が、まれば、いるのでは、

課題への対応・克服に対し 活用は、さまざまな社会的 くのか。 果をどのように生かしてい 議論が行われたが、その成 経済成長の推進やセキュリ 深いものだったと思うが、 創生の観点からも大変意義 ドカや知名度を高め、 相次ぎ、 者からは、本市への賞賛が 市長の所見は。 ても大きな役割を担うと期 ティ確保等について活発な Tの普及する社会における 市長の所見は。 合となったと感じているが 同会合では、新たなーC ICTの飛躍発展とその 同会合に訪れた各国関係 本市の都市ブラン 同志会 公明党 地方

のか。
【清・気候】
にどのように生かしていく
開催結果を今後の市政運営
でも大きな役割を担うと期
でも大きな役割を担うと期



防災・防犯

を進めるなどの対応を行う設について、順次、耐震化指定避難所等となる公共施

高松情報通信大臣会合

耐震化が必要な施設は5か予定しているものを除き、共施設のうち、閉鎖などを共施設のうち、閉鎖などを共施設のうち、閉鎖などを

るなど、安心して避難でき

る体制整備に取り組

高い3か所は改築や改築計 高い3か所は改築や改築計 所の指定を一時的に解除す が完了するまでは、避難 でが完了するまでは、避難 を残る施設についても、耐震 が完けるまでは、避難 の見直しを検討しており、 のを決する。 のり度の対応を行う。



は市民参加型のイベントがられたほか、開催期間中に

然環境などが高い評価を得

本市の都市機能や豊かな自

また、同会合を通じて、

と感じている。

できたことは大変意義深いメッセージを本市から発信

などが採択され、これらの

タル連結世界憲章_

同会合では、「デジ

めの福祉避難所と災害弱者のた

整備に取り組む安心して避難できる体制の

るとともに、ICTを活用

市ブランドの向上につなげ

したまちづくりを進めてい

致に生かし、

経済効果や都

会議を含めたMICEの誘

今回の成果を今後の国際

創出にもつながった。開かれるなど、にぎわいの

学関係機関と連携強化を図 を改訂し、平常時から地域 を改訂し、平常時から地域 を改訂し、平常時から地域 を改訂し、平常時から地域 を改訂し、平常時から地域 を改訂し、平常時から地域 が犯罪に手を染めないため ことが重要だが、子供たち

る「タイムライン」 災害時の行動を見える化す

活用について検討する 国の運用基準等が整い次第

災害時の行動を見える化す る「タイムライン」を策定 が事前にとるべき行動を時 系列で整理することにより 質 活用する考えは。 問 提として、関係者 災害の発生を前

公明党

あると思われるが、運用に 当たっては、臨機応変な対 応が必要となる場合もある 防災・減災対策に有効性が の防災行動が見える化され、 により、住民や関係組織等 機関等の連携体制等が整い ては、国の運用基準や関係 ことから、その活用につい 検討する。 り入れた計画の策定 タイムラインを取

り、犯罪のない安全で安心地域の防犯意識の高揚を図 なまちづくりに取り組む

犯罪自体を減少させていく 防犯体制の整備はもとより まちを形成するためには、 問 暮らし続けられる 安全で安心して

> している。 街頭キャンペーン等を実施 地域と連携した万引き防止 とした指導用教材の作成や、 低学年の児童を対象 まで、 小学校

くりに取り組む。 のない安全で安心なまちづ 犯意識の高揚を図り、 も展開するなど、地域の防 に、防犯に関する啓発活動 防犯活動を支援するととも 今後も引き続き、地域の



まちづくり

立地適正化計画

現する計画として策定する ンパクト・エコシティを実 本市が目指す多核連携型コ

考え方は。 など、多くの課題があるが する多肥・林地区のあり方 画には、想定される公共交 の基本となる立地適正化計 策定に当たっての基本的な 通の位置づけや人口が急増 問 据えたまちづくり 本市の将来を見

本市が目指す多核連携型コを的確に見きわめた上で、地利用の現況、将来動向等 として策定する。 現する、実効性のある計 ンパクト・エコシティを実 姿を展望し、人口集積や土 平成50年頃の都市の同計画については

香東川の郷東橋から水道資 料館までの区間

検討するよう県に要望する 親水公園等としての整備を

ることを県に要望する考え 間を親水公園として整備す 橋から水道資料館までの区 施設として、香東川の郷東 質問 拠点となる憩いの 本市西部地区の 同志会

持する上で重要な役割を果 いや、周辺の自然環境を維 自然と人間の豊かな触れ合 いが、良好な水辺空間は、 備等は現在予定されていな ての整備を検討するよう県 たすため、 強く要望していく。 された区間の改修整 県によれば、提案 親水公園等とし



産業

向け全力で取り組む サンポート高松への誘致に

後の取り組みは。【鼬鼠刽】

今

新県立体育館

つため、 ンポート高松に誘致する考 ナとして、 けた施設となり得るアリー 問 MICE振興に向 誘致競争に打ち勝 県立体育館をサ 本市がMICE

報提供のあり方を検討する地域の問題解決に必要な情

れば、

大規模なコンサート

ート高松に整備され

同体育館

サン

や学会等の開催が可能とな

本市のMICE推進を

例等の情報を収集し、市民 ため、判例や問題解決の事 が、本来は当事者間で円満 闘争に発展するものもある が活用できるようにする考 に解決することが望まし 問 る問題には、法廷 自治会が直面 【公明党】 61

> を見極めつつ、サンポート における建設地の検討状況役割を担えることから、県 補完する施設として大きな

致に向けて全力で取り組む。 るなど、市議会とともに誘 高松の優位性をアピールす

うした経験等を積み重ねる 題解決の糸口を見出し、こ 判例等も参考にしながら課 の実情等をくみ取りつつ、 ティ推進課において、地域 ないため、新設のコミュニ は直接参考となるものが少 問題解決に必要な情 情報提供するだけで 裁判例をそのまま

報提供のあり方を検討する。

(質 問

向け積極的に取り組む ンピックの事前合宿誘致に 東京オリンピック・パラリ

観光

絶好の機会と考えるが、 スポーツ振興等につながる の国際的な知名度の向上や クの事前合宿誘致は、本市 ク・パラリンピッ 東京オリンピッ

催などを通じ、 四国パラ陸上競技大会の開 信に努めるとともに、中国 ドに本市の施設情報を掲載 するなど、引き続き情報発 作成する候補地ガイ 大会組織委員会が

とで、事前合宿の誘致に向 ざまな機会を通じたプロモ クの拡大を図るなど、さま けて積極的に取り組む。 ウの蓄積や人的ネットワー ーション活動を推進するこ

次期鳥獸被害防止計画

と連携して取り組む ついて盛り込み、周辺市町ジビエの需要の喚起などに

取り組む考えは。【公明党】 野生鳥獣の食肉を意味する 体と広域で連携して普及に 計画に位置づけ、周辺自治 「ジビエ」を鳥獣被害防止 食文化の促進に有効なため 問 の対応や伝統的な イノシシ増加へ

など、効果的な進め方につ 周辺市町と情報共有を図る 防止計画の策定に当たって 盛り込むこととしており、 いて連携して取り組む。 ジビエの需要の喚起な 利活用の推進について 次期高松市鳥獸被害 平成29年度からの



医療

新病院の医師確保

う強い決意をもって臨む 医師数を必ず確保するとい 医療機能を十分発揮できる

> 国的な課題となっ 勤務医不足は全

事業管理者の決意は。 丸となった取り組みと病院 確保について、関係者が一 り組みは。 減少しているが、新病院開 ており、 たなしの状況の中で、医師 院に向けた医師確保への取 質 新病院開院に向けて待っ 問 市民病院の医師も 【韻民党】

発揮できる医師数を必ず確 景に、その医療機能を十分 までにないインパクトを背 どに取り組むこととしてお 交流の推進や、医師求人サ 新たに海外の医療機関との 取り組みを充実させるほか きかけるなど、これまでの 保するという強い決意をも イトを利用した情報発信な 新病院開院という、今 からの派遣を強く働 今年度も大学医局

> 等を検討する かれた状況に応じた支援策 子供・若者のそれぞれの置

まえた本市の取り組みは。 議決定されたが、これを踏 者育成支援推進大綱」が閣 していくための「子供・若 社会生活を送れるよう支援 質 問 供と若者が円満な 本年2月に、

同大綱の趣旨を踏 公明党

(同志会)

策等について検討する。 置かれた状況等にきめ細か り、子供・若者の支援を重 に応じることのできる支援 の連携のもと、それぞれの 置するとともに、関係部局 若者支援地域協議会」を設 層的に行うための「子ども まえ、関係機関や家 地域が一体とな

の場の充実を図る 送れるよう、多様な住まい 障がい者が自立した生活を

する」等としているが、一 まいの場の確保の取り組み ビスを提供するサテライト 立った良好な住環境を整備 として「障がい者の立場に 人暮らしに近い形態でサー 質問 者プランでは、住 単身生活を望む たかまつ障がい

> 方に対応できるグループホ ムを充実させる考えは。

の充実を図る。 連携して多様な住まいの場 から、今後も民間事業所と することが重要であること した生活が送れるよう支援 て暮らすことができ、自立 慣れた地域で安心し 障がい者が、住み

(



育

大学生等を対象とした現在 の奨学金制度

として見直すべき 活用しやすい財政支援制度

質

所見は。 な見直しが必要だと考える 給付型にするなどの根本的 とした奨学金制度に対する が、現在の大学生等を対象 > < 問 として、奨学金を 若年層への支援 オーラム乳

組みは。

(同志会)

考えるが、恒久的な財源確 として見直す必要があると 望どおりに就学できるよう、 り、意欲を持つ若者が、希 の奨学金制度は不十分であ 公平性のあり方など、多く 保や進学しない若者等との 活用しやすい財政支援制度 しても、現在の日本 先進諸外国と比較

に投票いただけるよう、

ある。

いて十分議論されるべきで の課題があるため、国にお

選

今夏の参議院議員通常選挙

き続き、周知啓発に努める り組みを協議しており、引 若年層の投票につながる取

選挙権年齢が18歳まで引き 者に対する投票啓発の取り 下げられるが、 問 員通常選挙から、 今夏の参議院議 新たな有権

年層の投票につながる取り おり、引き続き、若い世代 終的な協議を行うなどして 組みについて、関係者と最 KODE瓦町」における若 回から期日前投票所を開設 みを協議しているほか、 する瓦町FLAG8階「I 香川大学と連携して取り組 向上策については、 若年層の投票率の 今

共機関がインフラ整備に関

クセスなどに、

公

高松空港へのア

たな駐車場など

質

問

「上下分離方式」を活用した

運営は民営化する

今定例会に提出された議案につ て、2人の議員が質疑しました。

市への未払い金額は **高松ファイブアローズの本**

初めて黒字化が見込まれて 太田安由美議員 質 疑 年の歴史の中で、 今季は球団の10 (祉ッド

> 用料を含めていくらか。 っている金額は、体育館使 が本市に対して未払いにな で、高松ファイブアローズ

> > 万8750円である。

兀資料収集懸賞事業など】

【他の質疑▼高松城天守復



弁答 い金額は、 本市に対する未払 1 3 3 3

進する考えは。

軌道系のインフラ整備を促

母子保健法の改正に対応し

支援センターの事業方針は

今後の子育て世代包括

大橋光政議員

(同志会)

いるとのことだが、現時点

その是非について市民レベ ルで議論すべき 局松城天守復元については

疑 学術的な資料が整 には莫大な事業費 高松城天守復元

とから、 と考えるが、 て市民レベルで議論すべき った際に、その是非につい を伴うことが予想されるこ 質 市長の所見は

岡田まなみ議員 (田産)

がら適切に進める。 民の皆様の御意見を聞きな 状況を踏まえ、市議会や市 文化庁の専門委員会の審議 高松城跡建造物整備会議や 発見された場合には、史跡 【他の質疑▼高松市市税条 可能性がある資料が 今後、 天守復元の

付加算金の未払いなど】 のない支援を積極的に行う。 育てができるよう、 【他の質問▼防災対策、 切れ目

部改正



市

政の、

つい

フラの整備は、多額

質問

括的に支援する子

子育て世代を包

新たな軌道系イン

7

人の議員が質問しました。 さまざまな課題に

軌道系インフラ整備を促進

佐藤好邦議員

(鼬鼠党)

も参考に検討を進める。 めており、今後、先行事例

対応した今後の事業方針は ているが、今回の法改正に 化に先んじて4月に開設し について、本市では、法定 育て世代包括支援センター

【他の質問▼塩江地区の新

上下分離方式を活用した、

交通システム導入検討チー であるため、庁内組織「新 あるが、その検討は有意義 の事業費など大きな課題が

ム」を発足させて議論を始

保育・療育環境の充実を 発達障害をめぐる子育てと

春田敬司議員(公明党)

問 談支援の中核を担 地域における相

うとともに、関係機関と密

ては、各種相談を行

同センターにおい

が安心して妊娠・出産・子 おり、今後も、妊産婦など 接な連携を図ることとして

ういわゆる基幹センターを

育環境の充実を図る考えは めぐる、子育てと保育・ 設置するなど、 発達障害を 療

がら、療育等の環境整備に 関係機関とも連携を図りな 多様な障害に総合的に対応 取り組む。 材育成に努めるとともに、 障害に適切に対応できる人 整備するほか、今後も発達 できる基幹的な施設として 域生活支援拠点を、 新たな障がい者地

【他の質問▼ふるさと納税、 教育委員会など



定に向けての可能性は 富野和憲議員 (清-5年)

フェアトレードタウンの認

するフェアトレードタウン めに、「公正貿易証明」が 行政が協力して是正するた けての可能性は。 について、本市の認定に向 なされた産品の利用を促進 人質 問 童労働を、 格差や貧困、 市民や 児

認定の可能性を判断する。 との整合性を図りながら、 行政運営の柱である「協働 認定の基準をクリアするた のまちづくり」などの施策 めの課題等を整理し、本市 CT、自治会加入促進など] 【他の質問▼LGBT、 活動を見守る中で、



直しに取り組む考えは ゼロベースで補助金等の見

植田真紀議員 (微ッド)

む考えは。 さなければならないが、ゼ ロベースで見直しに取り組 すためには、既得権をなく 問 ころに補助金を出 本当に必要なと

事業の実施に当たっては、 向けた方策を検討する中で、 後策定予定の財政健全化に が重要となる。まずは、今 点検・評価に基づく見直し による事業の優先づけなど 厳しくなる中、 財政環境が一段と 施策

> 計画的で実効性のある見直 しに取り組む。 【他の質問▼行財政改革な

> > 実など

市民活動団体等の



温泉を含めた塩江の活性化 を住民を交えて行う考えは

藤沢やよい議員(
用産
対

う考えは。 だが、温泉を含めた塩江の 農業・林業を生かしたまち 温泉を生かした観光振興と 活性化を、住民を交えて行 づくりを真剣に考えるべき 質 > < 問 塩江町について、 人口減少が続く



塩江の活性化につながる観 住民等の意見を聞きながら、 ることとしており、今後、 年度中に塩江温泉郷活性化 に向けた方策を取りまとめ 誘致を図るため、 観光客等の一層の 今

> 災害発生時におけるペット 同行避難者の受け入れ態勢

香川洋二議員 (無所属)

るとあるが、本市の状況は 等にペット同行避難者の受 策の基本と位置づけ、市町 ラインでは、災害発生時に け入れ態勢の整備を期待す は同行避難を動物の災害対 問 難所等運営ガイド 県が作成した避

される課題を整理し、受け 所運営の手引きの中で、避 入れ態勢の整備に努める。 人れや共同生活などで想定 難所におけるペットの受け けるインバウンドなど) 【他の質問▼観光施策にお を予定している避難 今年度中に見直し



において、 在宅医療と介護の連携推進 医師会等との連

入見昌弘議員 (諸民党



ティマネジメントの効果的 発想の転換によるファシリ な推進にどう取り組むのか

橋本浩之議員(鼬眠党)

能性があると考えるが、効 組みは工夫次第で大きな可 質 問 ネジメントの取り ファシリティマ 策として、 問

のか。

果的な推進にどう取り組む

光振興の方策を検討する。

【他の質問▼学校教育の充

会等との連携強化の考えは 築が重要だが、在宅医療・ 地域包括ケアシステムの構 を包括的、 介護連携推進における医師 ーズ増大などの対 継続的につなぐ 種々のサービス 高齢者ケアのニ

を伺う機会も設け、その中

る提案募集の調査対象を拡 大するほか、市民の御意見

事業者との対話によ

今年度から、

ア等が導入可能かどうか検 で提起される優れたアイデ

の返礼品拡充の考えなど】 化し、在宅医療と介護の提 会等との連携をより一層強 係団体の連絡調整を行って おり、連携強化に向けた関 体制の構築が急務となって 供体制の構築を推進する。 いるが、今後、高松市医師 【他の質問▼ふるさと納税 一体的に提供できる 在宅医療と介護を

ちづくり、

観光振興など

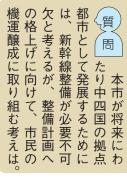
的な推進に取り組む。 醸成にも努めながら、 想を見出せるような気風の 討するとともに、新しい発

【他の質問▼教育問題、

ま



四国新幹線の整備計画への 格上げに向け、 中村秀三議員 **醸成に取り組む考えは** 市民の機運 (公明党)



の活性化などを図る 新幹線が地域経済

(弁 望してきており、今後も、 けられる制度となるよう、 より安心してサービスを受 国に対し制度の見直しを要 高齢者となった障がい者が、 国市長会を通じて、 本市としては、 全

給付については、原則とし 杉本勝利議員 問 重複する自立支援 介護保険制度と (鼬鼠党)

介護保険及び障害福祉サー ビスの問題点に対する取り

組みは

質 問

る重点的な取り組みは。 助・共助・公助の視点によ 組みが必要だが、自助・互 や企業等が協力し合う取り 住民ニーズの把握と、行政 ステムの実現には 地域包括ケアシ

解と教養を十分に身につけ統・文化に対する正しい理

ためには、日本の歴史や伝

の礎として世界に羽ばたく

弁

人としての誇りを心 若者たちが、

日本

ることが必要であるため、

歴史教育は大変重要である 国民としての自覚を育てる

【他の質問

建設計画

障

防に取り組むことができる 「自助」への働きかけなど 「互助」や、自らが介護予 住民相互で支え合う 本市では、特に、

本市の取り組みは。 まうなどの問題があるが、 害福祉の支援が途切れてし て介護保険が優先され、

【他の質問▼国民健康保険 統合医療、里山など 実現に向けて取り組む。に連携し、地域包括ケアの 地域の多様な主体が、 を行っており、 な役割分担のもと、 考えは 日本の歴史教育についての 小比賀勝博議員 【他の質問▼教育など】 今後とも、

等への働きかけに取り組む。

【他の質問▼子育てしやす

いまちづくりなど

と連携を密にしながら、

注携を密にしながら、国四国4県や他の自治体

ともに、

経済団体はもとよ

組織に対し周知・広報活動

事業、

を理解いただくため、関係

上で有効な手段であること

国等に働きかける。

の実施を働きかけるなど、

市民意識の醸成に努めると

本の歴史教育への所見は。 するために、教科書に建国 の歴史を記すべきだが、日 持てないということを改善 問 本に誇りや自信を 日本人が母国日

な、自助・互助・共助・公 地域包括ケアの推進に必要

助の視点による取り組みは

(舗民党)

有機的

適切



賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では審議の結果、議案等のうち9件について、採決に当たり次のとおり賛否が分かれました。賛否については、賛成の場 合は○を、反対の場合は×を、会派で意見が分かれている場合は△を表示しております。

件名		議決結果等	会派別賛否						
			自民党 議員会	同志会	公明党	市 民 フォーラム21	日 本 共産党	市民派 改革ネット	無所属
	平成28年度高松市一般会計補正予算(第1号)		0	0	0	0	×	×	0
	平成28年度高松市一般会計補正予算(第1号)に対する修正案			×	×	×	0	0	×
	高松市墓地条例の一部改正について		0	0	0	0	0	×	0
市長提出	高松市支所及び出張所設置条例の一部改正について	可決	0	0	0	0	×	0	0
議案	高松市市税条例の一部改正について	可決	0	0	0	0	×	×	0
	高松市保育所条例の一部改正について	可決	0	0	0	0	×	×	0
	高松市保健センター条例の一部改正等について	可決	0	0	0	0	×	0	0
	高松市スポーツ施設条例の一部改正について		0	0	0	0	×	0	0
議員提出 議 案	伊方原発の再稼働の再考と新規制基準の見直し及び実効性の ある避難計画を求める意見書	否決	×	×	×	○ (賛成2 / 反対3)	0	0	×
陳 情	熊本地震の発生に鑑み伊方原発の再稼働に反対することを求 める陳情	不採択	×	×	×	○ (賛成2 / 反対3)	0	0	×

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。



委員会の活動など

●所管事務調査

常任委員会が所管する事務の中でテーマを設け、議 会の閉会中も継続して調査します。今定例会で決まっ た各委員会のテーマは、次のとおりです。

総務消防	選挙の投票率向上について
教育民生	子供の読書活動の推進について
経済環境	持続可能な観光の推進について
建設水道	県内水道事業の広域化に伴う下水道事業の運営 体制について

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を 受ける会で、次のとおり開かれました。

総務消防	← □ 21 □	第10次高松市交通安全計画(案)について
小いりカノロドリ		高松市公共施設再編整備計画(案)1次について

件

次のとおり推薦に同意しました。

●人権擁護委員候補者

坂 井 実 氏 武 田 惠都子 氏 久 利 トモ江 氏

永年在職議員表彰

- ●全国市議会議長会表彰
- ・在職25年以上

二川浩三 鎌田基志

・在職10年以上

辻 正雄 小比賀 勝 博 西岡章夫 井 上 孝 志

一般質問等において一問一答方式が始まりました!

議会での議論がよりわかりやすいものとなるよう、今定例会から一問一答方式、いわゆる分割方式に よる一般質問が始まりました。

これまでは、質問者が複数の項目について一括して質問し、答弁者ごとにまとめて答弁を受けていま したが、これを大きな項目ごとに分けて質問し、それぞれの項目順に答弁を受けるように改めました。

この方式では、案件に対する疑問点を一つずつ取り上げて、質問と答弁を繰り返すため、やりとりが わかりやすく、今、何が問題になっているかを明確にすることができます。

議会報告会を開催しました!

高松市議会では、4月24日(日)、市役所本庁舎において議会報告会 を開催しました。(1面参照)

報告会当日は、多数の皆様にご来場いただき、ありがとうございま した。

≪報告会の内容≫

議会改革の取り組み及び3月定例会について 議会運営委員長から、これまで取り組んできた議会改革と、3月定 例会で議論した内容について報告を行いました。



- 常任委員会・特別委員会ごとの3月定例会の審査状況及び所管事務調査等について 各常任委員会と特別委員会の委員長等から、3月定例会における各委員会での議論の内容と、 平成27年度に行った所管事務調査の報告を行いました。
- ●質疑応答

議会や報告会の内容などについて、11名の参加者の方から質疑や要望等をいただきました。

報告会の詳しい内容は、高松市議会ホームページ(http://www.city.takamatsu.kagawa. jp/26195.html) に掲載しています。また、報告会の模様は、インターネット動画共有サイト 「USTREAM」で配信していますので、ぜひ、ご覧ください。(上記ホームページからご覧いただけます。)

